

## ならちゅうしん経営研究会 例会報告

### 第 354 回 研究会

日時	令和 4 年 6 月 15 日(水)	午後 4 時 ~ 午後 5 時 45 分
場所	奈良中央信用金庫 3 階 ホール	
	オンライン併用開催	
テーマ	会員企業取組報告会	
	「ポストコロナに向けて」	
報告者	株式会社 セクション	代表取締役 小河 敝夫様
	(株式会社 シルクロード 会長)	
	池島鐵工所 株式会社	代表取締役 池島 雄規様
	天理総合運輸 株式会社	代表取締役 鳥山 和範様

今回の研究会も、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み会場に来訪頂いてのご参加と Z o o m によるオンラインでのご参加に分かれてのハイブリッド型で開催しました。今回の研究会は、「ポストコロナに向けて」をテーマに会員企業からの報告会として実施しました。

1 番目に小河社長より報告を頂きました。48 年前の 1974 年にオガワ商會を創設されてより現在に至るまでの沿革を社会的な出来事に合わせてお話しを頂きました。卸売業者として創業し一時は小売に進出そして撤退、製造部門の立ち上げそして注力と自社の事業に有利なサプライチェーンを構築され売上高を伸ばし、高い利益体質の企業を戦略的に創り上げたとお話でした。オイルショック→バブル崩壊→リーマンショック→そして今回のパンデミックと、10 年に一度は必ず大きな経済問題が発生する。大事なのは予見し想定のおうえで経営すること、“売上高より利益重視、直ぐに安売してはダメ、良い商品を自信を持って供給していく”と大変参考になるお話を頂きました。また、創業時は 2 歳であったご子息への事業承継についても父の背中を見ることで自身で学び立派な経営者に成長されたとのことでした。

続いて 2 番目に池島社長より報告を頂きました。まず当社の業務内容について、お話を頂きました。当社の主力アイテムは緑化関連製品で「地下支柱」に使用されるアンカーやベルトなどの金具、西鹿児島駅東口のクスノキの大木への施工事例や当社の壁面への設置状況など資料を用いて解り易く説明を頂きました。しかし、コロナ禍で予算削減の煽りを受けて緑化関連製品の受注が激減したこと、反面、趣味や家庭での時間が増えたことにより自動車部品や機械部品、商品棚、また足踏み式消毒スタンドの受注が増加したとお話でした。コロナ禍における取組として自社の技術を磨くことに注力されていること、そして人材確保の取組として外国人特定技能者を確保し大阪万博に向けて期待が出来るアフタ

ーコロナの需要に対応していく方針であるとのこと。

最後に鳥山社長より報告を頂きました。まず運送業界の現状についてお話を頂きました。コロナ禍で起こった大きな影響として燃料である軽油価格の上昇、巣籠を背景にネット通販の利用が増え小口宅配の荷物量が急増していること、反面、世界的な半導体問題や海運の停滞により産業製品や消費財の荷物量は減少しているとのこと。また運送業界における2024年問題「働き方改革」への対応が急務であるとのこと。このような厳しい外部環境のなか、当社では配送や運転管理業務の効率化、コストの削減、若手人材の育成に積極的に取り組んでいるとのこと。また日本の産業を根底で支える物流業界の持続可能な事業運営のために荷主となる取引先企業の協力も欠かせないとお話でした。

今回の報告会は、それぞれの業界内における取組をお話し頂き、参加者皆様の会社にとっても非常に参考になるお話でしたので、報告者に対して多くの質問やご意見が寄せられました。小河社長、池島社長、鳥山社長様、貴重なご講義をありがとうございました。

以上



開会ご挨拶 上田会長



小河社長 報告



池島社長 報告



鳥山社長 報告